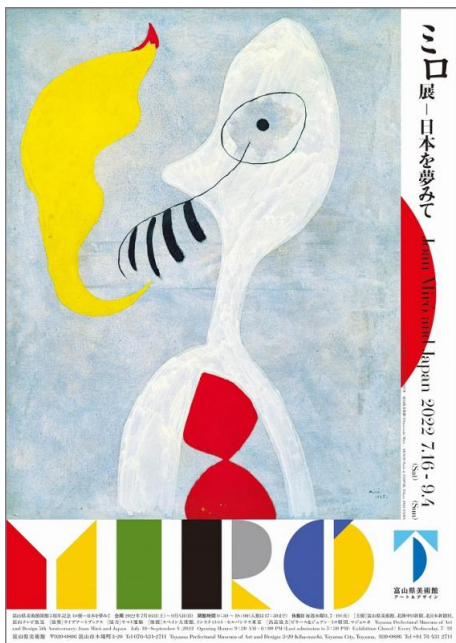


令和4年5月23日

「富山県美術館開館5周年記念 ミロ展一日本を夢みて」の開催および一般前売券発売のご案内

富山県美術館では、2022年7月16日（土曜日）～9月4日（日曜日）の間、「富山県美術館開館5周年記念 ミロ展一日本を夢みて」を開催します。一般前売券は5月27日（金曜日）から販売します。



スペインのバルセロナで生まれた芸術家、ジュアン・ミロ（1893年～1983年）。20世紀を代表する巨匠として、その名が日本でも広く紹介されていますが、ミロが若いころから日本に憧れ、日本文化に造詣が深かったことはあまり知られていません。一方、日本でも、ミロの作品は1930年代から紹介され、1940年には単行書が世界に先駆けて刊行されるなど、早い時期から人々に親しまれてきました。また、ミロは1966年の初来日以来、富山県出身の詩人・美術評論家の瀧口修造と親交を深め、ふたりによる共作も手がけています。

本展は、ミロと日本の関係に注目した初となる展覧会です。スペイン、ニューヨーク、日本各地から集結するミロの作品、そしてアトリエに残された日本の民芸品や多彩な関連資料等を通じて、ミロ芸術と日本文化の意外なほど深いつながりを紹介します。

開催概要

展覧会名

富山県美術館開館5周年記念 ミロ展一日本を夢みて

会期

2022年7月16日（土曜日）～9月4日（日曜日）

休館日

毎週水曜日、7月19日（火曜日）

開館時間

9時30分～18時00分（入館は17時30分まで）

会場

富山県美術館2階 展示室2、3、4

観覧料

前売り一般：850円、当日一般：1,100円（850円）、大学生：550円（420円）

※高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※一般前売券の販売は、7月15日（金曜日まで）

前売券販売所

富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ

主催

富山県美術館、北陸中日新聞、北日本新聞社、富山テレビ放送

協賛

ライブアートボックス

協力

ヤマト運輸

後援

スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京

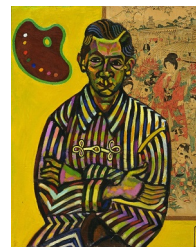
出品協力

ピラール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ

本展の見どころ

01 浮世絵に俳句、日本好きのミロ。

ミロが生まれた1893年のバルセロナは、1888年の万国博覧会開催をきっかけにした日本美術ブームの真っ只中にありました。ミロの生家の近くには日本美術の輸入販売店があり、初の個展を開いた画廊でも、日本の浮世絵や工芸品の展覧会が開催されていました。またミロの周囲には俳句の魅力に取り憑かれた詩人たちがいました。パリでシュルレアリスムに出会うより前に、ミロは日本に出会っていたのです。こうした環境で育ったミロの日本文化への憧れや興味を示す作品を展示します。



ジュアン・ミロ 《肖像（パイプを吸う男）》
1917年、ニューヨーク
©The Museum of Modern Art, New York, Florence May Schoenborn
Bequest, 1990 / Licensed by Art Resources, NY
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

02 画家ミロの歩みを国内外の珠玉のコレクションで辿ります。

1920年、初のパリ滞在以降、ミロはパリで作品を発表するようになります。当時世間を騒がせていたシュルレアリスムの詩人や画家たちとも親しくなり、ミロもその一員として名が知られるようになっていきました。この時代ミロは様々な独自の表現を試み、なかでも絵画と詩が溶け合うミロならではの画面からは、東洋への眼差しも透けて見えます。

03 日本を夢みて…念願の来日。

戦後、ミロはますます日本の文化にのめり込み、自らも日本風の作品を作るようになりました。1966年、日本での大規模な回顧展開催を機にミロは念願の初来日を果たします。日本各地を飛び回り、世界初のミロの単行書を1940年に刊行した詩人で美術評論家の瀧口修造との対面も叶いました。若い頃から日本に憧れたミロと、世界に先駆けてミロの魅力を見出した日本の関係がさらに深まっていくこととなります。

04 ミロと瀧口、富山県美術館のかかわり。

1966年の初来日以来、ミロは瀧口と親交を深め、詩画集の共作も行っています。瀧口が富山県立近代美術館（現 富山県美術館）の設立に関わった縁もあり、ミロの《絵画（パイプを吸う男）》は、西洋美術コレクション第1号となりました。本展には、当館所蔵の二人の友情を示す作品や贈り物も紹介されます。



ジュアン・ミロ 《絵画（パイプを吸う男）》
1917年、富山県美術館
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

05 ミロのアトリエを飾る日本の民芸品が里帰り。

ミロの制作の原点であるカタルーニャの農村モンロッチのアトリエや、晩年を過ごしたマジョルカ島のアトリエに飾られていた日本の品々は、ミロの創作意欲を大いに刺激しました。また本棚には、書やはにわ、茶道、日本庭園など日本の文化にまつわる画集が数多く収められていました。友人たちから贈られたものからミロ自身が購入したものまで、貴重なミロ旧蔵資料が数十年ぶりに日本に里帰りします。

● 展覧会チラシ (PDF : 6,877KB)

会期中のイベントについて

会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。

お客様へのお願い

ご来館の皆様には、マスクの着用／適切な距離の確保／咳エチケット／風邪症状がある場合のご来館自粛など、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力いただけますようお願い申し上げます。

土日祝の混雑時には、入場制限を行う場合がございます。

ご取材・掲載用写真について

広報用画像および取材申請については、下記申込書にご記入の上、ご送付をお願いいたします。

広報用画像提供・取材申請書（PDF：1,714KB）（別ウィンドウで開きます）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



富山県美術館開館5周年記念 ミロ展 ー日本を夢みて
 広報用画像・取材申込書

E-mail : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

■次ページ記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込日			
貴媒体名			
(WEB の場合の URL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名		E-mail:	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日:	年 月 日
取材希望日 <small>※取材希望の場合</small>	日時	撮影 希望あり・希望なし <small>※ご希望にそえない場合があります。</small>	
記事・企画内容			

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
 tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
 メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
 担当 : 広報 : 川浦
 展覧会に関して : 碓井、以倉、江尻

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA WITH US



富山県美術館開館5周年記念 ミロ展 ー日本を夢みて


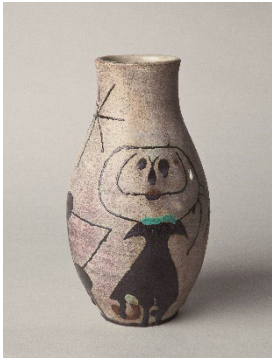
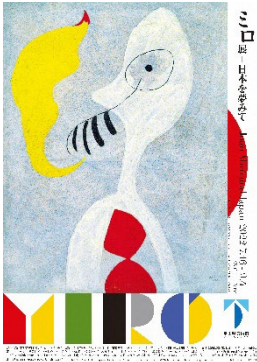
※ご希望の画像にチェックを入れてください。

<p>① <input type="checkbox"/></p> 	<p>② <input type="checkbox"/></p> 	<p>③ <input type="checkbox"/></p> 
<p>ジュアン・ミロ 《絵画 (パイプを吸う男)》 1925年 富山県美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>	<p>ジュアン・ミロ 《アンリク・クリストフル・リカル》の肖像》1917年 ニューヨーク近代美術館 ©The Museum of Modern Art, New York. Florene May Schoenborn Bequest, 1996/Licensed by Art Resource, NY ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>	<p>ジュアン・ミロ 《絵画 (カタツムリ、女、花、星)》1934年 国立ソフィア王妃芸術センター Photographic Archives Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofía, Madrid ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>
<p>④ <input type="checkbox"/></p> 	<p>⑤ <input type="checkbox"/></p> 	<p>⑥ <input type="checkbox"/></p> 
<p>ジュアン・ミロ 《花と蝶》1922-23年 横浜美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>	<p>ジュアン・ミロ 《焼けた森の中の人物たちによる構成》1931年 ジュアン・ミロ財団、バルセロナ ©Fundació Joan Miró, Barcelona ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>	<p>ジュアン・ミロ 《シウラナ村》1917年 吉野石膏コレクション (山形美術館寄託) ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当: 広報: 川浦
展覧会に関して: 碓井、以倉、江尻

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA WITH US



<p>⑦ <input type="checkbox"/></p> 	<p>⑧ <input type="checkbox"/></p> 	<p>⑨ <input type="checkbox"/></p> 
<p>ジュアン・ミロ 《絵画》1966年 ビラール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>	<p>ジュアン・ミロ 《マキモノ》1956年 町田市立国際版画美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>	<p>ジュゼップ・リュレンス・イ・アルティガス、ジュアン・ミロ 《花瓶》1946年 個人蔵 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304</p>
<p>⑩ <input type="checkbox"/></p> 		
<p>「富山県美術館開館5周年記念 ミロ展—日本を夢みて」ポスター</p>		

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当: 広報: 川浦
展覧会に関して: 碓井、以倉、江尻

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA WITH US



富山県美術館 広報用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）・WEB等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。ご使用可能な期間は本展覧会終了までとなります。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。**提供した画像データは、使用後すみやかに破棄してください。**
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ **画像はトリミング（切り取り）はせず、全図で使用してください。作品が切れたり、キャプション等の文字や他の画像を重ねてのご使用はできません。**
- ◎ WEBにてご掲載の場合には、コピーガード（※右クリック不可）を施す、画像サイズを落とすなど、2次使用防止への可能な限りのご対応をお願いします。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画（例：出版物表紙、広告素材使用は不可）での二次使用はできません。**再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。**
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録のDVD、CDなどを富山県美術館へご提供をお願いいたします。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当 : 広報 : 川浦
展覧会に関して : 碓井、以倉、江尻

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA WITH US

